

【 NPOキャリアデザインフォーラム 活動報告 】 (報告者：鬼頭)

「平成17年度 ニートサポート研修会」

(主催：愛知県・愛知県青少年育成県民会議 他、企画協力：NPOキャリアデザインフォーラム)

- 日時：平成17年10月18日(火) 10時～16時20分
- 会場：「ウィルあいち」大会議室 他
- 内容：午前の部<1> 玄田有史氏 基調講演「子どもがニートになったなら」
 午前の部<2> シンポジウム「地域でニートと向き合って」
 午後の部 分科会
 第1分科会「希望のニート」
 第2分科会「家族ができることを考えよう」
 第3分科会「ニート就労支援事業における現状について」
 第4分科会「手探りの立上げを通して」
 第5分科会「新しい支援のあり方(プレイバックシアター)」

- ・ 基調講演では玄田氏からニートについての詳しい説明があったあと、「ニートは理解できないというスタンスで向き合う」、「ニート自身は今まではいけないと思っているがキッカケがつかめていない」、「今後は中年ニートが増えてくる」などのニートに対する解説があった。
- ・ ニート対策については、社会の活力維持や社会保障制度の維持などを理由にするのではなく、本人のためのニート対策が必要であると玄田氏は主張した。
- ・ シンポジウム「地域でニートと向き合って」では実際にニートの就労支援を行っている各団体から取り組み状況の説明があった。千葉の市川市で若者自立塾を運営し、100人のニートを預かっている「NPO法人ニュースタート」の二神氏、ニート支援が活発な大阪で労働教育ファシリテーターとして活躍している河野氏、厚生労働省の委託事業として名古屋でニートの就労訓練事業を行っている「NPO法人名古屋オレンジの会」の鈴木氏、南知多町で南セントレアキャリアビルリッジという若者自立塾を運営している「NPO法人ICDS」の深谷氏などが相互に意見交換を行った。



- ・ 午後からはそれぞれ5つの分科会に分かれて議論を深めた。
- ・ 第5分科会では新しいニート支援のモデルとして「プレイバックシアター」についての勉強会を行った。
- ・ 「プレイバックシアター」は1975年にジョナサン・フォックスによってアメリカで生まれた即興心理劇で、教育や精神治療、演劇、社会福祉などの分野で実践され、大人から子供まで気軽に楽しむ人の数が増えている。
- ・ 分科会では「プレイバックシアター」の簡単な導入部分を実習し、参加者の理解を深めると同時に、参加者からテーマを提供してもらい、実際に大阪・名古屋の劇団メンバーが舞台劇を演じて「プレイバックシアター」の流れを実体験した。

